

濃緑色で極立性、萎黄病に強く収穫期間が長い、春～秋におすすめの品種！

(カネコ交配)

コマツナ

よかつた菜[®]

Komatsuna, Yokatta-na Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

濃緑色で極立性、萎黄病に強く収穫期間が長い、春～秋におすすめの品種！

(カネコ交配)
コマツナ

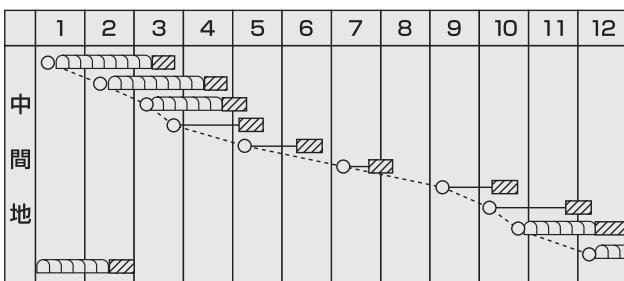
よかつた菜[®]

Komatsuna, Yokatta-na Hybrid

●特 性●

- (1) 草姿は立性、かつ葉先までしっかりと立つので葉がらみが少なく、収穫・結束作業が容易で荷姿も非常に綺麗です。
- (2) 葉色は濃緑色で葉身葉柄ともに光沢があり、ハウス栽培や寒冷紗トンネル栽培でも葉色が映えます。
- (3) 葉肉が厚く、葉軸も太いので、しおれに強く店持ちがよいです。
- (4) 耐暑性・耐寒性ともに強く、周年栽培が可能です。
- (5) 萎黄病に強いです。

●栽培作型●



○播種期 □ 収穫期 ▲ ハウス・トンネル栽培

●栽培要点●

○施肥量

肥料は全量元肥施用し、窒素・リン酸・カリとともに12～15kgを基準とします（前作の残肥等がありますので土壤分析等の結果を参考に調整します）。夏作やハウス栽培では徒長しやすいので全体に2割程度減してください。また、地力維持のため堆肥も適宜投入します。

○栽植密度

夏場は軟弱徒長しやすく、病気の発生も多くなりますので株間・条間ともにやや広くとって、しっかりと作るように心がけます。冬場は逆に尻が張りやすくなるのでやや株間を詰めて作ります。

- ・5～9月播種：株間4～6cm×条間12～15cm
(特に7月下旬から8月中旬までの盛夏期は株間・条間ともに広くとってください)
- ・10～4月播種：株間3～4cm×条間12cm

○水分管理

発芽を均一にするために、有機物等を十分に施用して保水力のある土壌作りに努めます。播種後の灌水は土がしまり、発芽のばらつきや初期生育の遅れを招きますので灌水設備のある場合は播種前に十分灌水します。灌水は適宜行いますが生育前半を中心に行い、特に収穫間近の灌水は葉軸の折れや、急激な伸びを招きますので避けます。収穫期には根の泥落ちを良くする点からも土壌がやや乾きぎみになる程度が良いです。「よかつた菜」は葉肉が厚く、根も比較的強いのでしおれる心配は少ないです。

○資材等の利用

コマツナは登録農薬が少ないと生育期間が短いため農薬の使用が非常に難しい作物です。対策としては、ハウス栽培では入り口やサイドに寒冷紗等を張り、露地栽培では寒冷紗トンネルとし害虫の侵入を防ぎます。また夏場に温度が上がりすぎる場合には必要に応じて遮光資材等を用いてください。「よかつた菜」は葉色が濃いので寒冷紗やべたがけ資材を用いても葉色が極端に淡くならないことがありません。

冬場は地温が低下して発芽や初期生育が悪くなりますが、必要に応じてベタがけ資材等を用いて保温を行います。（コマツナの発芽適温は15～20°C位です）

○ここがポイント

「よかつた菜」は生育後期のスピードがやや遅いので、他品種では伸びすぎて収穫が間に合わなくなるような春～夏にかけて栽培すると収穫に幅を持たせることが出来ます。また、冬場の栽培では生育期間も長いため株張りは非常に良くなります。低温伸長性はやや弱いのでハウス等の換気は少なめにして保温に努めます。

 カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
会員登録 No.10001号

取扱店